

令和8年度
伊豆市議会 ～みんなで語る会～
報告書 (7月分)

7/2

木



移住コネクター対象
市役所本庁 特別会議室

7/3

金



地域おこし協力隊対象
市役所本庁 委員会室

7/7

火



伊豆総合高校生対象
伊豆総合高校 図書館

令和8年7月
伊豆市議会

令和 8 年度 伊豆市議会 議会報告会実施報告

1. 開催日時・会場・人数

- ① 移住コネクター：7月2日（木）14:30～15:00 本庁特別会議室 7人
- ② 地域おこし協力隊：7月3日（金）9:00～9:30 本庁委員会室 10人
- ③ 伊豆総合高校生：7月7日（火）15:30～16:30 高校内図書室 17人

2. 主催

伊豆市議会 議会改革推進特別委員会

3. プログラム

- (1) 開会
- (2) 議会改革推進特別委員会委員長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 市長・市議会議員の同時選挙を考える（プレゼン説明）
- (5) 意見交換
- (6) お礼の言葉
- (7) 閉会

4. 当日配布資料

「市長・市議会議員の同時選挙を考える」パワーポイント資料

(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 7 月 2 日	開催時間	14：30 ～15：00	
実 施 場 所	本庁 2 階特別会議室			
参 加 人 数	移住コネクター 7 名			
出 席 議 員	三田 忠男	飯田 大	黒須 淳美	木村 建一
	小長谷順二	下山 祥二		
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答・意見交換 3. アンケート回答			
参加者意見	・二元代表制という観点から、首長と議員の選挙を同時に実施することの妥当性についてはどう考えているか。 ・令和 10 年には伊豆市で 4 つの選挙が予定されているが、これらをすべて同日に合わせることはできないのか。 ・全国の自治体で、首長と議員の選挙を同時に行っている自治体の割合や、同時に行っている自治体の方が多いのかどうかを知りたい。 ・半年の任期ズレであれば同時実施が望ましい。財源が厳しい伊豆市において、1,270 万円の経費削減が実現できるのであれば、それを市民サービスの向上に充てる方が市民にとって有益である。デメリットとして「投票の複雑化」が挙げられているが、衆議院選挙の方が複雑ではないか。また、新人候補への影響についても、現状のまま半年ずれていた方が、新人候補が多くなるかという、そうとも言い切れないと思う。 ・1,270 万円の経費削減というメリットは、他のデメリットを十分に上回る。 ・市長と議会との緊張関係を維持するためには、あえて半年ずれたままにしておく選択肢もあると思う。ただし、経費削減のメリットはやはり大きい。 ・今後予定されている市民アンケートは、具体的にどのような意図・目的で実施し、その結果は議員の判断にどのように反映されるのか。 ・デメリットとして挙げられている「定員割れのリスクが高くなる」とは、具体的にどういうことなのか。 ・自主解散が議会で否決された場合は、どうなるのか。			

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・任期満了前の解散に対して、議員としては、賛成したくない人が一定数いるのが普通ではないか。市民アンケートの結果、解散を求める声が多かったとしても、議員個々の考えがあるため、合意形成には困難が伴うと思う。・新しい取り組みであり、他自治体の先行事例もあることから、前向きに進めるべき。・仮に一度同時実施を実現しても、将来的に市長の辞職等で再び時期がずれる可能性があるのは理解しているが、それでも一度、同時実施の形をとったほうが良いと思う。・市長と議員の任期を合わせる４つの手法が紹介されたが、議会の自主解散以外の方法を実現することは難しいのか。・４月は年度変わりで多忙な時期であるため、市長選挙の時期（４月）に合わせるのではなく市議会議員選挙の時期（１０月）に合わせる方が良いのではないか。 |
|--|---|

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実 施 日	令和 8 年 7 月 3 日	開催時間	9：00～9：30	
実 施 場 所	本庁 2 階委員会室			
参 加 人 数	地域おこし協力隊 10 名			
出席議員	三田 忠男	飯田 大	黒須 淳美	木村 建一
	小長谷順二	波多野 靖明	下山 祥二	
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答・意見交換 3. アンケート回答			
参加者意見	・なんでこのタイミングで議論されているのか。議論に至った背景を教えてください。 ・メリットは理解できるが、現在のやり方において、具体的にどのような懸念があるのか。 ・説明されたメリットは中長期的なもの、デメリットは短期的なものという印象を受けた。中長期的なデメリットはないということか。 ・市民にとってのデメリットは皆無に等しいため、市民の意見聴取よりも、議会が速やかに進めていくべきではないか。 ・自分はメリットしか感じないが、同時選挙に対して反対や懸念を示す意見はあるのか。 ・市民にとってはメリットの方が大きいとを感じるため、議会内部の合意形成が最も重要だと思う。 ・議会の自主解散に対する議員の賛否公表が来年予定なのはなぜか。賛否公表の後に市民アンケートを行った方が、よりインパクトがあって良いのでは。 ・市民への周知が難しく、投票率の低下も懸念されるが、そうしたデメリットに対してどのような対策を考えているのか。 ・一市民としてメリットの方が大きいとを感じるが、議員にとっては、半年のずれを解消するために、1 年間以上前から準備をしていくと聞いて、段取りが複雑になると感じた。そのため、現時点ではどちらが良いか判断が難しい。			

(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	令和 8 年 7 月 7 日	開催時間	15 : 30 ~ 16 : 30
実 施 場 所	伊豆総合高校図書室		
参 加 人 数	伊豆総合高校生 17 名		
出席議員	三田 忠男	飯田 大	黒須 淳美
	小長谷順二		木村 建一
報 告 内 容	「市長・市議会議員の同時選挙を考える」 1. プレゼン資料説明 2. 質疑応答・意見交換 3. アンケート回答		
参加者意見	【同時選挙に関すること】 ・同時選挙により削減された経費を何に使うか決まっているか。 ・メリットの中に「地域行事などへの影響が減る」とあるが、今まで4月と10月の2回選挙を行うことで、地域行事への影響があったのか。 ・デメリットとして挙げられている項目は、解散した年のみの課題なのか。 ・同時選挙にすることで削減された経費は、市民が納得できる使い方をしてほしい。 ・デメリットにある「解散事例が少なく市民への周知が難しい」という点について、具体的にどのような懸念があるのか。 ・今日の説明を通じて、議会の自主解散という決断が極めて重大なものであると理解できた。こうした説明の機会がなければ、自分たちの保護者世代もその意義をしっかりと理解することは難しいのではないかと思う。 ・市民にはメリットが多いので、強く反対する人はいないと思う。 ・議会の自主解散は、前進に向けた前向きな後退だと捉えることができると思う。 ・職員の負担が減るなら同時選挙にした方が良くと思う。 【その他】 ・バス通学をしているが、路線バスのダイヤはどうやって決まっているのか。テスト期間中など通常より早く帰る時に、ちょうどよい時間のバスがない。 ・自転車通学で、修善寺橋付近から狩野川の堤防沿いを通って帰るが、自転車のライトだけでは暗く、歩行者が見えないことがある。		